

常滑市柔剣道場



外観

「常滑市柔剣道場」は、常滑市立鬼崎中学校敷地内にある柔剣道場。常滑市は剣道をはじめとするスポーツ活動が盛んであり、地域の柔道・剣道教室やスポーツ団体など、生徒以外も使用する施設となっている。



内観



4階建ての施設には、1Fに柔道場、2Fに剣道場、4Fに卓球場が設置されている。

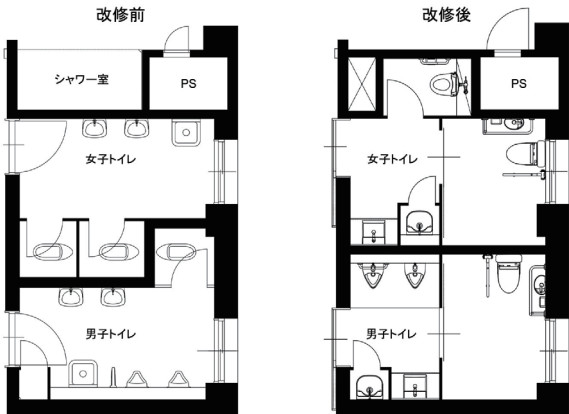


1F トイレ入口

改修前は、開き戸であったが、車いす使用者も利用しやすいよう引戸に改修。剣道の竹刀などスポーツ用具を持ち歩くことを想定し、トイレサインは突き出しタイプではなく、平付きタイプとしている。

トイレ図面

以前使われることがなかったシャワー室の空間を活用し、トイレスペースを拡張することで、広さや器具数を充実させている。



水まわりの特長

改修の経緯

知多半島西海岸の中央部に位置する愛知県常滑市は、古くより焼き物の産地として知られ、2005(平成17)年には、市沖合の埋立地に「中部国際空港 セントレア」が開港している。「常滑市柔剣道場」は、市内にある学校教育施設のうちのひとつで、常滑市立鬼崎中学校の敷地内に立地。常滑市は、剣道を始め、スポーツ活動が盛んであり、当施設は、地域の剣道・柔道・卓球教室の開催やスポーツ団体の活動など、生徒以外にも小さなお子様から高齢者までが使用する施設となっている。このたび、施設全体の老朽化が進んでいる中で、トイレ環境の改善を最優先として、トイレ改修を実施。和式便器の洋式化や湿式清掃を乾式清掃に変更するなどの改修が行われた。

トイレの特長

改修前のトイレは、大便器は和式便器で、清掃方法は湿式清掃であり、においや清掃のしづらさが課題となっていたため、学校からは清掃のしやすいトイレが要望された。さらに、災害時に避難した市民が柔剣道場を利用することも想定して、車いす使用者でも使いやすいトイレの設置が目指された。改修にあたっては、広さや器具数を確保するため、隣接していた利用されていないシャワー室をトイレ空間に拡張。1F男女別トイレに1ヶ所ずつ、広めのブースを設置。大便器は、休憩時間の一斉利用を想定し、連続洗浄が可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用。さらに、足元空間が広い洗面カウンターを設置し、車いす使用者に配慮するとともに、床への水垂れを防ぎ、清掃性も考慮している。

建築概要

名称	常滑市柔剣道場
所在地	愛知県常滑市港町3-1(鬼崎中学校内)
施主	常滑市
設計(改修)	株式会社伊藤設計
施工(改修)	建築 株式会社 谷川組
竣工年月	(トイレ改修)2025年2月
建築面積	616㎡
延床面積	2,013㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上4階

おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS498BK
ウォシュレットPS(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5524AU
紙巻器:YH51R／壁掛小便器:UFH500
マープライトカウンター(ボウルー一体タイプ):MK45／壁掛手洗器:LSA90ABS
立水栓:TLC11AR／パブリック用手すり:T112CL11、T112HK7R
マルチシンク:SK500



1F 女子トイレ
洗面コーナー

車いす使用者に配慮して、足元空間が広い洗面カウンターを採用。カウンタータイプにすることで、水垂れによる床の黒ずみや廊下まで汚れが広がってしまうのを防ぐことも狙いとしている。



1F 女子トイレ
広めのブース

男女別トイレとも各1ヶ所ずつ、広めのブースを設置し、車いす使用者に配慮。L型手すりとはね上げ手すり、便器横に手洗器を完備している。



1F 男子トイレ
小便器・大便器コーナー

小便器は、近づきやすい形状で床の清掃がしやすい、低リップの壁掛小便器を採用。男子トイレにも、女子トイレ同様、広めのブースを設置している。



1F トイレ呼出

男女別トイレの広めのブースには、呼出ボタンが設置されており、緊急時や体調不良時などに呼び出しできるよう配慮。ボタンを押すと、トイレ入口の通路に光と音で通知できるようになっている。



1F SKブース

乾式清掃化に伴いすっきりとシンプルに整えられたSKブース。掃除流しは、コンパクトなマルチシンクを採用している。



改修前

改修前のトイレは、大便器は和式便器、清掃方法は湿式清掃であったため、においや清掃のしづらさが課題となっていた。